

**乙訓圏域障がい者自立支援協議会**  
**平成30年度 第3回就労支援部会 会議録**

日時 平成30年10月4日(木) 13:30~15:00

場所 乙訓保健所 講堂

出席者 13名

乙訓ひまわり園、しょうがい者就業・生活支援センターアイリス、就労移行支援事業所ピオニー、乙訓若竹苑、乙訓やよい福祉会、京都府立向日が丘支援学校、京都七条公共職業安定所障害者職業相談室、乙訓青年会議所(2名)、乙訓保健所福祉室、向日市障がい者支援課、長岡京市障がい福祉課、大山崎町福祉課

欠席者 4名

こらぼねっと京都就労移行支援事業所ステージ、しょうがい者就業・生活支援センターアイリス 就労移行支援事業所ピオニー、長岡京市商工会

事務局 2名

傍聴者 1名

配布資料 ・次第

- ・総合就業支援拠点 京都ジョブパークの取組について(障害者就労支援)
- ・企業訪問 計画表(案)

## 議事の流れ

(部会長)

・第3回就労支援部会をはじめます。前回講演いただいた石井さんに来ていただいています。乙訓で就労支援のネットワークをとという就労部会の思いでしばらくご協力いただけないかと出席をお願いしました。

## 2 京都府総合就業支援室からの報告

松下 妙子 障害者雇用推進担当課長

(部会長)

・次第の1番と2番を入れ換えて進めます。井上室長からご紹介いただいております。お話を伺いたいと思います。

(委員)

・京都府の障がい者雇用を所管している総合就業支援室の松下障害者雇用推進担当課長に来ていただいております。京都テルサのジョブパークで実施している障がい者就労支援の取り組みの報告をしていただ

きます。

(松下担当課長)

・ご紹介いただきました松下と申します。本日はこのような機会を設けていただきありがとうございます。

・障がい者施策について、京都府は基本的には健康福祉部が所管していますが、雇用の面については労働分野の就労支援のと同じような形で企業とつながりながら支援していった方がよいという考えの元に商工労働観光部に障がい者雇用の所管をおいておまして、その関係で総合就業支援拠点であるジョブパークに障がい者雇用の窓口を設けています。この会は、福祉を中心にした就労部会と聞いておりますので、ジョブパークの支援メニューなどを今回ご紹介できればと思ってまいりました。

※総合就業支援拠点 京都ジョブパークの取組について(障害者就労支援) 参照 説明

(部会長)

- ・ありがとうございます。
- ・府立の支援学校では3年か4年ぐらい前からジョブパークと連携させていただいてきました。今年はセミナー授業の活用や雇用企業サポートセンターを夏休みに利用してアドバイスをいただき大変ありがたいなと思っています。
- ・乙訓の就労部会とも連携ができるというお話だったので何かご質問がありましたらこの機会にいかがでしょうか。

(GM)

- ・はあとふる企業はあまり知られていませんね。

(松下担当課長)

・認証のメリットを企業に感じていただけていない部分もあるかと思えます。障害者雇用を先頭にたって進めていただいている企業として京都府のホームページも少しリニューアルして実例を前に出して、広く雇用にあたっての参考にできるような広報を考えていきたいと思っています。頑張ってください。

・先日、はあとふる企業から嬉しいお知らせがありました。ホームページを見て、人に優しい取り組みをされている「はあとふる企業」で働きたいという学生さんの応募があったそうです。その学生さんは障がいのある方ではないのですが、その企業からもっと認証制度を宣伝された方がいいですよと仰っていただきました。人材確保の入り口にもなる制度だと思えますし、障害者雇用の輪を広げて行くためにもしっかり取り組みたいと思っています。

(部会長)

- ・ハローワークとジョブパークはどういう関係になっているのでしょうか。

(委員)

・ジョブパークは、国の労働局と京都府が京都府内在住の方に対する就労支援を一体的に実施する施設です。いろいろなコーナーでカウンセリングや相談、マッチングを希望される方に対するワンストップサービスを提供ということで位置づけられています。ハローワークはいわゆる出口としての職業紹介です。

(部会長)

- ・どちらを利用させてもらったらいいですか。

(委員)

- ・別にどちらを利用していただいてもかまいません。
- ・ジョブパークは京都府内全域を管轄していますが、ハローワークは居住地ごとという管轄区域があります。カウンセリングを希望される方にはジョブパークを案内していただき、職業紹介を希望される方には一般のハローワークをご案内していただいたらと思います。

(松下担当課長)

- ・補足しますと、ジョブパークは就労をトータルでサポートしますが職業紹介はできません。職業準備性を高めるためのセミナーを定期的に年間計画をたてて実施しています。企業の人事担当者に来ていただいて面接対策のセミナーなども行っており、そうしたところがジョブパークのできるところだと思います。カウンセリングを受け実習を踏まえながらトータルな流れで就労をめざすことができます。
- ・出口はハローワークの求職支援を受けることとなり、入口の準備の部分をアイリスのような地域のなかぼつセンターや府が窓口を設けているということです。

(部会長)

- ・定着についてもそれぞれですね。

(松下担当課長)

- ・定着に関しては、ジョブパークはあとふるコーナーでは難しく、どちらかという企業とのマッチングをセットする機会を増やすことに注力をしています。企業支援の中で定着の部分をやめることもありますが、地域のなかぼつセンターにお願いしフォローしていただいています。
- ・青年会議所さんなどで「障害者雇用とは」というような企業向けのセミナーを企画していただきたいと思っています。今、オムロン京都太陽の現場を活用して、受け入れ準備セミナーを定期的で開催しています。朝礼の見学、交換ノートなどで親御さんとのやりとりをされている場合何をチェックしているのか、昼休みの過ごし方、どんなふうに声かけをしているのか、また、採用面接をロールプレイしてみるなどを企業の担当者に体験等していただいています。朝の8時ぐらいから午後1時ぐらいまでの半日コースで設定しています。個別にセミナーを設定することもできますのでお声かけいただけたらと思います。

(委員)

- ・こういったことは、青年会議所内であまり認知度が高くないので、そういう機会ができたらという声かけはしていきたいと思います。

## 1 就労ネットワークについて

- ・前回の石井雄一郎氏の講演について
- ・企業訪問の計画について

(部会長)

- ・前回の部会で石井さんから講演いただきましてそのアンケートのまとめを上田副部会長から報告させていただきたいと思います。

(副部会長)

・当日、企業の方を中心にたくさん傍聴に来ていただきました。感想を抜粋してまとめたものですが、「インクルージョン委員会の活動や実践を具体的に説明され理解しやすかった」「本人主体で支援することの当たり前さを広げていき誰もが暮らしやすい社会づくりのための COCO ネット乙訓版を作りたい」「この就労支援部会で話し合っているようなネットワークづくりを考えていきたい」「ネットワーク構築はできるまでが大変ですが石井さんのお力を借りて実現させたい」などがありました。保護者の方もいらしてみたいで「石井さんの力強いお話が聞けたので子どもの将来に期待が持てました」という意見もありました。実践をされているところの報告だったので、ここでもできるかもしれないとすごく力強く思ったという感想が多かったという印象でした。

(部会長)

・ありがとうございます。補足などいかがでしょうか。  
・その後、どんな活動をするべきかを話していたのですが、乙訓の中小企業家同友会の方も傍聴に来られていましたので、一度企業訪問をやっていきたいと考えています。障がい者雇用よりも障がい者理解を進めていくというところで何社かご紹介いただきました。アイリスの千丸委員に石井さんとやりとりしていただいて計画表も出ていますので説明をお願いします。

(委員)

・4枚の資料です。1番上は計画表案で今日話し合いたいことを載せています。次の紙には企業訪問をする場合に持っていく資料の提案です。「自立支援協議会とは就労支援部会とは」を説明させてもらえたらと思っています。あと資料番号1、2は両面になっていますが、これは以前にこの部会で配られたものです。資料3は昨年度庁内実習をされた時の新聞です。  
・1枚目に戻っていただきまして、石井さんから京都中小企業家同友会に入っておられる8社が企業訪問を受けてくださるとお聞きしましたので、このように日程を調整しました。訪問は部会員2、3名で行けたらと思うのでどなたが行くかを決めたいと思っています。  
・乙訓青年会議所にも日程調整をしていただいたのですが、10月11月は今年度と来年度の体制の変わり目になってみなさん訪問を受けるのが難しかったと聞いています。  
・企業訪問に行かれる部会員がおそらくバラバラになるのでどういったことを話すのかある程度一致したいと思いました。流れを最後下の方に1から5番まで書いています。それと持ち物を少しが書かせてもらっています。  
・補足等あれば教えていただけたらと思います。

(部会長)

・具体的に企業名を出していただいていますので、その情報を石井さんからお世話になりますでしょうか。

(石井氏)

・ダイセイは建築の会社です。最近は寺院の改築工事などを中心にやっておられます。よく委員会の方にも顔を出してお話を聞きに来られていました。自分も棟梁を兼ねてられるのでほとんど現場でなかなか動きづらかったですが今回お話をぜひ聞きたいということでお受けいただいています。  
・乙訓設計はこないだも来ていただいていたので、設計事務所を自分でされているのでほとんど現場を飛び回っておられます。雇用に関しては、難しいと言いつけてられますが、授産製品の販売などの応援は昔から積極的にされていますのでその関係の話聞いてもらえたらと話をしています。

・多貝は行ったことはないのですが色々な販売会などでよくお会いしています。娘さんが今社長か専務だったと思います。地元の酒屋さんで地元の商品を商品化するなど色々頑張っておられます。障がい者雇用については全くはじめてなので悪い印象も良い印象も持っておられないと思います。この方が今乙訓の支部長をされていますので味方につけたら支部の30社ぐらいをまとめてくれると思います。

・山海木工は現場で木を切って家具を作る建具の製造会社です。テレビの家を建て替える所ジョージの番組ビフォーアフターを京都でされる時はほとんど山海さんが木造カットなどされているので看板はテレビに出ています。音がすごいです。ガンガン木を切っているのでもし実習に行かれる時は音に恐怖もっている子はちょっと難しいかと思いますが、木工など好きな子は楽しみな会社だと思います。

・向陽社会保険労務士の楠本さんは青年会議所も入っておられますか。

(委員)

・乙訓にはおられません。

(石井氏)

・事務所に行ったことはないのですが、よく知っているのので、声をかけたら一発で「電話来たか。しゃあないな。ほんならいいよ」って言ってくれているので、大丈夫だと思います。

・丸五自動車工業は自動車の整備会社でディーラーもされています。社長は温和な柔らかな方なのでしっかり話は聞いてもらえる、障がい者雇用関係に関してははじめてで僕からの紹介でじゃいいよって言ってくれていますので積極的にお声かけいただけたらと思います。

・シライはこないだも来ておられた女性社長の建築の会社です。社長さんは事務員さんといっしょにほとんど会社におられるのでとっつきやすい会社だと思います。委員会での話はよく知っておられますが、具体的な活動はまだされてないので教えてあげていただければと思います。

・ロビンガーデンは、光明寺の横を入ったとこの大きいお花屋さん。ここも障がい者雇用は今までは全くされていません。一般の社員に定着してもらう環境を作りたいのなら障がい者を雇用した方が早いよと話はしています。ここには仕事がたくさんあるはずです。雇える環境は持っておられるのであとはスキルをどう高めていくかなのでご協力いただけたらスムーズにいける可能性は高い会社です。

・他の会社もお声かけはしていますが、まだちょっとためらっておられるところもありました。この8社がスムーズに受けてくださって、その内容を支部の中で報告されると「そんな感じやったら今度はうちも」と確実に増えると思いますのでぜひここからこじ開けていただければと思っています。

・メインで動いてもらいたいのは、多貝さん、シライさん、ロビンさんです。

(部会長)

・何か注意することはありますか。障がい者雇用で行くのではなくてまずは障がい者の理解と乙訓の取り組みをお知らせするスタンスで行きたいと思っています。

(石井氏)

・いきなり雇用ということはないと僕も現場で言っています。まずは地元こういう学校があるよ、こういう支援する機関があるよ、ものづくりをされている作業所があるよということを知ってもらうところから始めていただければと思います。

・ロビンさんは敷地内でロビン祭りを年に何回かされていて、出展者も募集されています。お客さんは来られますが出展者がいないことがあるので大歓迎だという話をされていました。

(部会長)

・では、部会員の振り分けですが、学校と福祉事業所と行政も含めてですね。商工会議所とハローワークの室長の方ははずしますか。

(委員)

・規模的には法定雇用の義務があるような対象ですか。

(石井氏)

・全部法定雇用率の義務はないです。

(委員)

・あればうちは難しい部分がありますが、なければ別に構いません。

(石井氏)

・実習や雇用となったらお願いすると思います。

(部会長)

・法定雇用率にあてはまらなくても実習となった場合など何かメリットなどありませんか。

(委員)

・色んな助成金制度も活用できるのでそういう話が出た時はお答えできるかなと思います。

(石井氏)

・実習の話がある時は必ずハローワークを通してください。通さずに、お弁当やおこづかいを渡したなどとなると後で大変なことになります。

(部会長)

・実習等々になるとハローワークに一報入れるということで。ジョブパークとは関係ないのですか。

(松下氏)

・それは、ないです。

(部会長)

・乙訓青年会議所の委員さんは二人でいっしょに行かれますか。

(委員)

・日程を見ますと、事業とかぶってないのが11月16日だけです。

(委員)

・どこの企業も、先のことなので一旦この時間で取るけれどわからない時もあるかもとおっしゃったので一週間前にご連絡をしようと思っています。

(委員)

・16日にいっしょに。

(部会長)

・わかりました。青年会議所は10月11月の時期はこういう委員の交代ですか。

(委員)

・違うんです。内部で次年度の役職が決定して尚且つ最初の引継ぎと方向性みたいなのを会議を重ねてきめなければなりません。

(部会長)

・もし時間があれば一緒に来てその話の内容も聞いていただいて、お声かけいただけたらと思います。個人的にはせっかく何回も来ていただいているので行きたいと思います。年度内どこかで機会を設けて

いただけるようであればありがたいのでまたお声かけください。

・では、割り振りについては個人的に日程を千丸委員に伝えていただいて、それで調整していただいてよろしいですか。

(委員)

・はい、調整します。

(部会長)

・次、企業訪問の流れですが、ここに書かれているような形で、名刺交換、別紙の説明で企業訪問の目的、自主製品、作業などの用紙など伝えてもらって意見交換ということでもいいですか。

(石井氏)

・大丈夫です。

(部会長)

・持ち物は、行かれる方の名刺、この資料、行かれるところの事業所のパンフレットをそれぞれでお願いします。

(石井氏)

・こういう製品が載っているパンフレットがあればわかりやすいと思います。

(部会長)

・やよい工房はパンフレットありますか。

(委員)

・あります。

(部会長)

・ひまわり園もありますね。

(GM)

・昔、「はたらく」という冊子を作りました。全部の施設で作っているものがカラー写真で載っています。何冊かあるので持っていてもいいかと思います。

(部会長)

・そんなに冊数がないので置いていくことは難しいですね。こういう製品ですと見ていただく形で持っていくますか。

(石井氏)

・具体的だと「あれで使えるな」「こういう時に来てもらえたらいいな」と分かりやすくなると思います。クッキーとよく書いてあるけどどんなクッキーか分かりませんしね。何か特徴のあるものだとそれなりに目をひいてくださると思います。

(部会長)

・では、やよい工房、ひまわり園、若竹苑はここに来られているので、お渡ししてもいいカラー刷りの写真や値段表があれば8社分用意して千丸委員に集中させてもらっていいですか。ここに来られてないバスハウス、あらぐさ、友愛之郷、カメラアあたりはその冊子にありますか。

(GM)

・あります。

(部会長)

・千丸委員にどなたが行っていただくかをまず表にさせていただいて連絡させてもらうことになると思いますのでよろしくお願いします。

### 3 その他

(部会長)

・その他にいかせていただきます。庁内実習の進捗状況を報告していただきます。

(委員)

・青戸委員が今日欠席ですが事前に連絡をいただいて確認をしています。

・平成30年度実習計画の一覧が出来たのでまた連絡する予定ですが、今月は大山崎町役場で10月25日と10月29日、ちょうどこの企業訪問と同じ日になっていますが、時間や詳細はまた詰めてということにはなりません。実習の流れのマニュアルほどではないですが、来年度以降に必要な書式などをまとめて出来るように準備中です。庁内実習班の会議で中身を確認して確定していく予定です。

(部会長)

・10月25、29はどなたが実習に行かれることになっていますか。

(委員)

・お名前はまだ私の方では確認していないのですが、25日がステージ、29日はアイリスとステージの利用者と聞いています。

(部会長)

・25、29ということで、時間はメールしていただいて見に行ける方は見学をお願いします。次回以降、その都度進捗状況をお知らせいただくことになると思います。できれば文面で配っていただくとわかりやすいのでご準備をお願いします。

・次回の部会は11月28日水曜日午後1時半から2回目になりますが講演を予定しています。来年度には乙訓での障がい者の就労支援ネットワークが主題になり、副題として企業福祉になってくるかと思えますので、企業、福祉、学校で取り組んでいる竹の箸づくりについてお話をしてもらおうと思っています。企業の方は高野竹工、福祉の方は暮らしランプとバスハウスです。

・場所は、暮らしランプが長岡京市の重要文化財中野家を改修工事されて11月に立ち上がるのでそこを予定していたのですが、昨日お聞きしますと、この台風の影響で工期が大きく延びて来年4月になったそうです。途中でできないかと食い下がったのですがダメと言われましたので場所が未定です。

・明日、高野竹工の西田課長、バスハウスの片山さん、暮らしランプの森口さんに学校に来ていただいて打合せをする予定です。もし来られる条件のある方は学校の方に足を向けていただけたらと思います。企業に関わっていただいて特産品の竹を使って箸を作っています。製品がバラバラでは売り物にならないので、同じ製品ができるよう加工できる器具も高野竹工に作っていただいてそれを買い取って箸を作っている状況です。

・長岡京市の観光課が売出しをされているので行政が関わっている部分もどこかに盛り込んで話をしていただけないかなと思っています。日にちの時間も決まっていますが何かしら話をいただけたらつながりができると思います。

・学校にもその竹をいただいて、加工する器具も今年度購入して木工の授業で西田課長に入ってもらって子どもたちが作るという場面も今あるので明日の打合せの中で盛り込めたら盛り込んでいいかなと思



っています。

・次回の場所もメールでお知らせしたいと思いますし、講演に向けての準備もまた分担をさせていただきますと思います。

(部会長)

・では、主に企業に、府立の支援学校で取り組み出した清掃接客の仕事検定のお知らせを机の上におきましたのでもし良かったら見に来ていただいとということ。

・それから、学校祭のポスターが昨日刷り上がったので、もしスペースがあれば貼っていただいとぜひお越しくください。体育祭文化祭をしていたのが、学校祭向日が丘フェスタということで、お祭りのコーナーを作ります。軽度の子どもたちが革製品の見本を置いて、こんな模様のパスケースがほしいなって注文を個別にすると、その後の授業で作って後日お渡しに行くという注文型のものづくりや、それぞれのクラスで工夫して取り組んでいる物売ったりしています。販売についても「いらっしやいませ」がなかなか言えなかったりもするのですが、よその方が来ていただくとそれなりに緊張して構えもできて売ったりする姿も見られると思います。舞台では、3日目午前中に高等部がそれぞれの演目をしますので子どもたちの様子を見ていただけたらなと。みなさん外部の方どんどん来てくださいとということなので宣伝をかねて入れさせていただきました。

・他何かありますでしょうか。

(石井氏)

・ちょっと質問してもいいですか。行政の方は福祉局の方ですか。竹のお箸の販売先は今どんな感じなのでしょう。

(委員)

・私も詳しくまだ把握してないです。また調べます。

(石井氏)

・今、現状どこに行ったら買えるとか。

(部会長)

・お寺や神社などで精巧なお箸を1000円ぐらいで売っておられますね。

(石井氏)

・お箸に文字や柄が入ったりしているのですか。

(部会長)

・それぞれ工夫を凝らして販売されているようですが。

(石井氏)

・長岡天満宮などで売っておられますか。

(部会長)

・はい。詳しいことは今度の講演にて映像で見せていただきます。パッケージも福祉で作るとなかなか目に留まりにくいので専門の方にアドバイスいただいと工夫を凝らして作っておられるので割と福祉というイメージなく売り出しておられると聞いています。

(石井氏)

・「ほっとはあと」が府で、「はあとふれんず」が京都市ですが、京都市は、今年度体制が変わって、そのコーディネイトの裏方の仕事をさせてもらうことになりました。今進んでいるのが、熊野若王子神

社、高台寺、松尾大社などと連携しながらオリジナルのキャラクターを作ることです。それぞれのお寺と地域からピックアップした素材を使って、福祉施設と連携して色んなキャラクターグッズを作ってお寺での販売をこの秋から始めていきます。観光客の食いつきが結構いいです。お寺のオリジナルのキャラクターが付いたものなので、使い勝手がいい、お土産にしやすい。今までだと神社の名前が入っているものはおじいちゃんおばあちゃんは買うけど若い女の子たちは買わないものにちょっと手にとりやすいキャラクターをつけてやっていこうという企画を始めています。長岡天満宮は人が多いので何かおもしろい仕掛けができたと思います。お菓子なども焼印を押すだけでオリジナルになります。そういうのができたら工賃向上につながるかと思います。若王子は桜猫っていう猫のキャラクターを作っています。地域猫を殺す殺さない論争がすごいですよ。餌をやる人とうんこされて困っている人たち。ボランティア NPO が捕まえては去勢してはなすのですが、去勢したしるしに耳にカットを入れます。それが桜の花びらに似ているから桜猫という名前にされています。お寺は生まれた命は大切に守るけれども次世代にはつながずというコンセプトでいきますというのをキャラクターにして桜の名所でもあるのでそれでお茶など色んなものを作ろうということになりました。福祉施設で最近作り始めているお茶やコーヒーのティーパックの中におみくじを入れます。プレゼント用と自分用と2、3個ずつ買っていかれます。そういうのも仕掛けるとおもしろいです。企業に取られる前に福祉施設が先にやらないと企業に取られたら圧倒的な力でやられてしまいます。

(部会長)

・今度講演をお願いしている暮らしランプはコーヒー豆を焙煎しているところなのでおもしろいですね。

(石井氏)

・それにこらばするとおもしろいと思います。シーリングの作業だと福祉施設でできるので。ティーパックを入れてぱちんぱちんする。単純計算して僕らの3分の1量でやっても時給換算で500円ぐらいにはなります。出荷先は福祉局の人に観光局とタイアップでがんばってもらいます。

(部会長)

・ここへ来てくださっているのは福祉課の方ですが、観光課と連携もして福祉の製品をどう売っていくかというアドバイスをさせていただくと流れも出来てくるので。またよろしくお願いします。

・他にございますか。

・青年会議所の方、次回11月28日はどうですか。

(委員)

・11月28日は府レベルの会議が13時からあってそれは僕らの微調整ではどうにもならないので残念ながら申し訳ございません。

(部会長)

・いえいえ。また次回どこかでまた。

・10月25日から11月16日で企業を回らせてもらうので、28日の宣伝もして来てもらえたらと思うので、フライヤーも早くつくって間に合うように入れさせてもらったらどうでしょうね。

・石井さんはどうですか。

(石井氏)

・はい、たぶん大丈夫です。

(部会長)

・では、何もなければこれで終わります。ありがとうございました。